

公園の中の風景の一つとなる自治会館



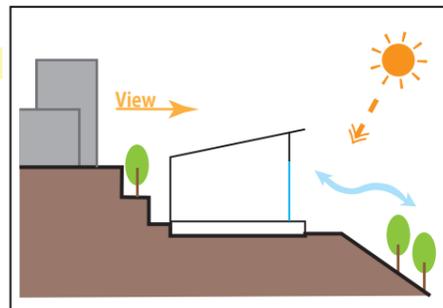
設計コンセプト

環境と地形に呼応する建物形状

敷地を取り巻く環境と地形に呼応して、建物の形状が生み出されました。

集会室の北側は、地形の傾斜に沿って樹々の緑が眼下に広がるのに呼応して、屋根は空に向かって傾斜し、自然の恵みを積極的に取り入れようという意志が形状となって表現されています。そして、南の住宅街側に対しては高さを抑え、控えめな佇まいを意識することで、結果的にメガホン型の形状となりました。

一方、事務室やトイレ等の管理エリアは、人々を受け入れるメインエントランス側を開き、トイレ利用者がメインとなりプライバシーが必要な園路側は閉じる事になります。その結果、傾斜が逆になった2つのボリュームが組み合わされた建物形状となりました。



開放感とプライバシーの確保が両立された、居心地の良い空間

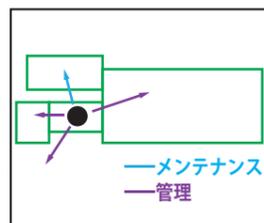
集会室の北面や事務室の南面は、開放性の高い掃出し窓ですが、それぞれ左右壁面と屋根のフレームで囲まれたテラスを設けることで、奥行のあるファサードが形成され、室内の様子は少し見えにくくなり、適宜プライバシーが確保されます。また、集会室のテラスは、敷地の勾配を活かし、園路とは1Mほどの高低差を持つ為、よりプライバシーを確保することができ、集会室は安心感のある、居心地の良い空間となります。

バリアフリーに配慮

必要なバリアフリーアクセス（公衆トイレ及び集会所出入口）は8%勾配の公園園路からにまどめました。集会所利用の車いすの方が直接室内にアクセスできるスロープを建物内に設け、集会室へと続く廊下は十分な幅をとり、全て車いすのまま利用可能としました。また、南側の主出入口は軒の深い玄関ポーチと余裕のある玄関スペースをとり、年配の方も十分な時間をもって靴の履き替えが可能としました。

管理しやすい配置

公衆トイレや室内トイレ、出入口及び集会室双方に目が届きやすい位置に事務室を配置しました。又、メンテナンスの必要なトイレや倉庫を一か所にまとめることで管理しやすい配置としました。



敷地の特性と建物のあり方について

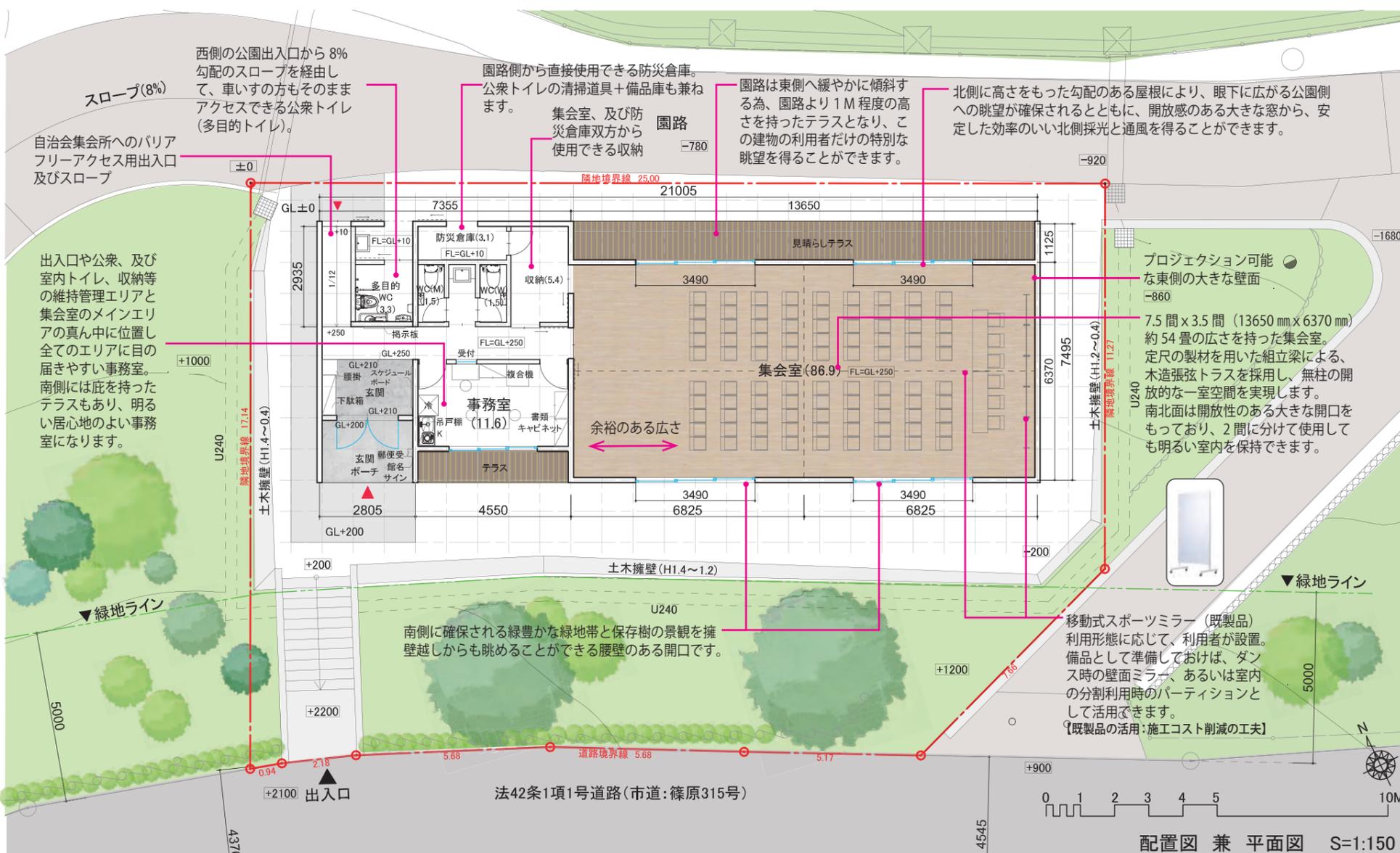
周囲の豊かな自然環境を取り込む



・公園の中の敷地であることを活かし、周囲の豊かな自然を視覚的にも聴覚的にも最大限にとりこみ、ここに集まって過ごすことで豊かな気持ちになることのできる場所とします。

・傾斜した地形を活かし、南側の高台の住宅街の眺望はささぎることなく、北側の眼下に広がる豊かな森や街並みの眺望を得ることができます。

・風景になじむような建物のしつらえとすることで、これまでや今後の公園利用者にとって、新しい建物であっても違和感のない建物とします。



木造張弦トラスによる、無柱の開放的な集会室。床はダンスに適したフローリング仕上げとし、壁面は多用途に使用できるよう、シンプルな白色壁紙で仕上げます。

構造計画
木造在来軸組工法によるシンプルな架構とし、主として、建物外周部に耐力壁を設け、バランスよい配置の計画とします。
耐力壁は十分な長さを確保し、耐震安全性においては、重要度係数1.5に対応することで、大地震後も継続して建物の使用を可能とし、災害時対応の地域拠点となる建物を目指します。また、ややスパンが大きい集会室の屋根は、定尺の製材を用いた組立梁による、木造張弦トラスを採用し、開放的な一室空間とします。

経済性、施工性、環境配慮について

- ① シンプルな平面形状【経済性】【施工性】**
施工費を抑えるとともに、施工性にも優れた形状です。
- ② 合理的な架構【経済性】**
張弦トラスも含め、全て木造在来軸組工法住宅で多用される定尺の一般流通材と在来プレカットを用いるため、経済的な架構を実現しています。
- ③ 近隣配慮【環境配慮】**
住宅地側の南側は建物高さを抑え、従来の公園への眺望を担保しています。

災害時の避難場所としての役割

- ① 安全性の確保**
耐震安全性においては、重要度係数1.5に対応し、大地震後も継続して建物の使用を可能とする、災害時対応の地域拠点となる建物を目指します。
- ② 避難場所としての機能**
学校の1教室以上の大きさを持つ集会室を災害時の避難場所として有効活用します。

建築概要、コスト、仕上げ、設備について

■建築概要		■主な設備	
敷地面積	: 402.73 m ²	熱源/オール電化	
建築面積	: 152.43 m ²	空調/ヒートポンプエアコン	
建ぺい率	: 39% < 許容 40%	防犯/常夜灯、防犯灯、防犯カメラ(空配管)	非常ベル
延床面積	: 152.43 m ²	通信/有線・無線LAN	
容積率	: 39% < 許容 80%		
■主な仕上げ		■概算事業費	
屋根	: ガリバリウム鋼板縦ハゼ葺き	本体工事費	: 2975万円
外壁	: ガリバリウム鋼板縦ハゼ葺き	設備工事費	: 744万円
	木板貼り	設計・監理料	: 372万円
内壁	: ビニルクロス貼り	消費税(10%)	: 410万円
天井	: 構造体現し、ビニルクロス貼り	総事業費	: 4500万円
開口部	: ペアガラス		
床	: フローリング、長尺塩ビシート		
	土間コンクリート		

